

一人ひとりの思いやりで 素晴らしいまちづくりを



●取材を終えて

まちづくりの主役は市民皆さんです

平成17年4月1日、登米郡迫町、登米町、東和町、中田町、豊里町、米山町、石越町、南方町、本吉郡津山町の9町が合併し「登米市」が誕生しました。特集で紹介した米、畜産以外にも、野菜などの園芸作物も盛んで、林業や商工業もそれぞれ地域の特性を活かした地場産品がたくさんある魅力的なまちです。

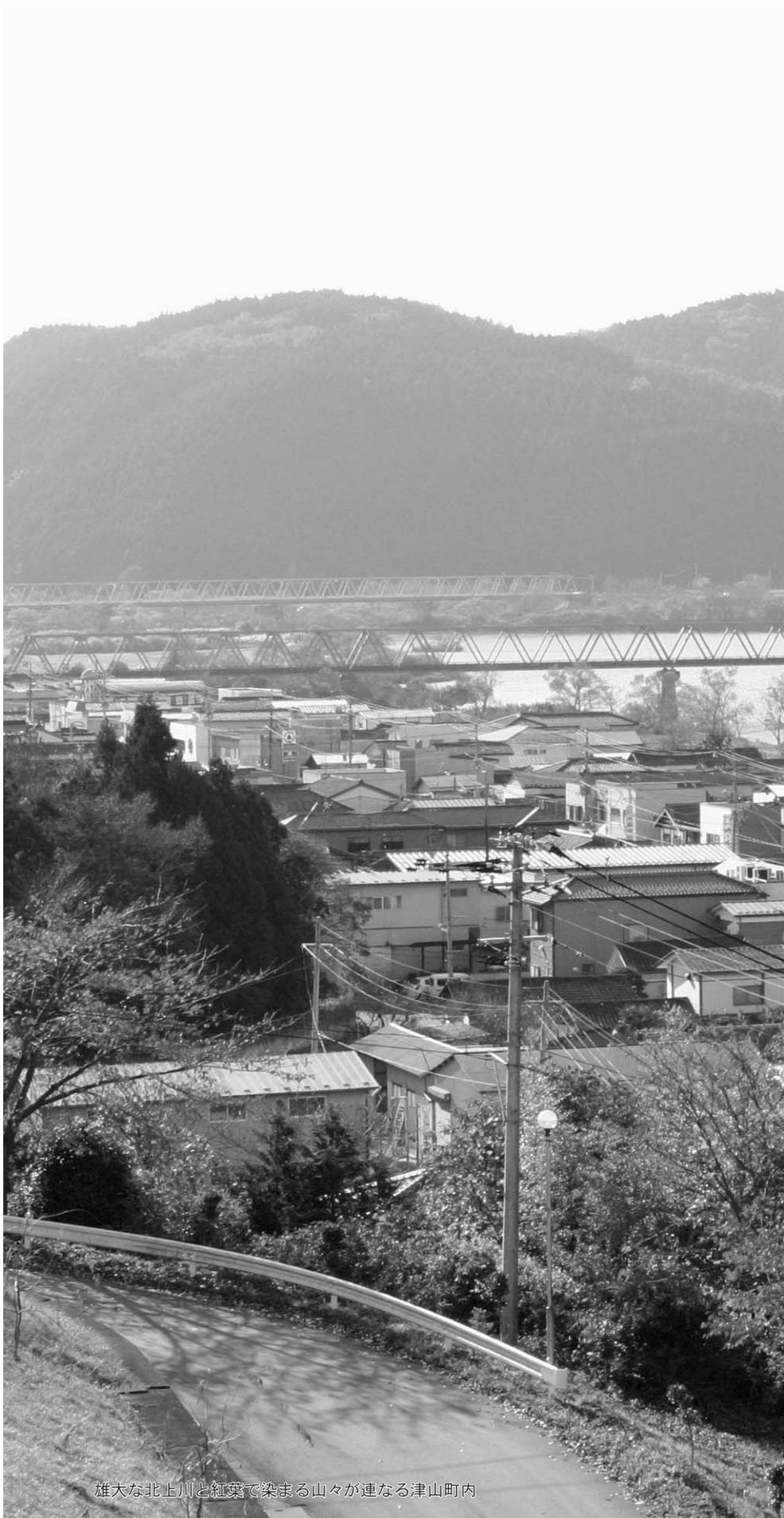
これまで、先人が築き守ってきた広大で豊かな耕土や歴史・文化資源、事業など、九つがひとつになったことでナンバーワンが増えました。人口約92,000人、面積536.38km²。9町のこれまでの歴史を引き継いで、新しいまち「登米市」が走り始めました。

今回の特集取材を通して、「登米市」にはさまざまな分野で、苦勞、努力、挑戦を重ねている人たちが多く、あらためて気付かされました。そしてその表情からは夢、希望を強く感じ取ることができました。この地域に生まれ、育ち、そして歴史的な合併を成し遂げた登米市民の力の大きさに驚いています。

ラグビーでよく使われる「ワン・フォア・オール、オール・フォア・ワン」という言葉があります。この言葉のように、みんながひとりを思いやり、ひとりがみんなを考えながらまちづくりをしていけば、きっと「登米市」は素晴らしいまちになると思います。

今後、新市建設計画やまちづくり総合計画で策定されたソフト・ハード事業が展開され、「登米市」は成長していきます。そのまちづくりの主役となるのは市民皆さんです。「広報とめ」では、皆さんの意見や要望などの声を聞き、伝え、考え、そしてまちづくりに活かし、応援していきます。

特集終わり



雄大な北上川と紅葉で染まる山々が連なる津山町内